

◆今号の主な内容

生薬春秋 第129回 伊藤敏雄	2面
薬になる動植物(41)「松竹梅」林輝明	3面
新着情報、漢方関連イベント	4面
明治政府はなぜ漢方医学を排斥したのか?	4面
2010年学会・研究会一覧	8・9面
百人一首ものがたり(48) 源重之 佐賀純一	10・11面
2010年漢方・東洋医学関連学会・研究会一覧	12面

# 漢方医薬新聞

No.469

発行所(株)漢方医薬新聞社 〒135-0047 東京都江東区富岡1-11-5-203 電話03-3630-6731 FAX 03-3643-3431  
 URL: http://toyogakusha.co.jp/kampo  
 毎月1日、15日発行 定価 300円 購読料1ヵ年7,200円(千共) 編集発行人 田部井志保

創刊以来26年間の実績  
**2008改訂新版**  
**健康・栄養食品事典**  
 機能性食品・特定保健用食品  
 長春中医药大学名誉教授 林輝明  
 京都薬科大学教授 吉川雅之  
 四六半冊入・970頁・定価本体5000円+税

## 新たな取り組みにチャレンジ 新春インタビュー 秋葉哲生氏



秋葉哲生氏

2010年を迎え、今年の新春インタビューは秋葉哲生氏にお話をうかがった。千葉県・蓮沼であきは伝統医学クリニックを開業する秋葉氏は、昨年から日本東洋医学会の副会長もつとめている。漢方界の現況や、今、漢方に求めるもの、今後の課題について、私見を交えた意見をいただくことも、秋葉氏の今後の取り組みについてお聞かせいただいた。

## 漢方ならではのエビデンスの構築を

### 国民全体が認める保険適用薬に

◆政治に翻弄された昨年秋葉 2009年は、政治に翻弄された一年だったといっている。秋葉氏は、私が日本東洋医学会の副会長に就いたのは6月ですが、それから政治的な話ばかりが続きました。ISO(国際標準化機構)の中で、中国が自国の医学をスタンダードにしようとしていたことに対応を重ねていた時期でもありません。

◆漢方のランダムイブ無作為比較試験320報をインターネットで公開 秋葉 私は2001年に日本東洋医学会最初のEBM委員会の委員長をつとめたが、結局EBM委員会が設置されたのも、当時小柴胡湯の副作用の問題が起り、それ以前には今回同様の漢方薬の保険適用除外の話が出ていて、漢方外方の効果について科学的に検証する必要性が生じていたからです。

◆EBM委員会としては2001年から5年ほどデータをまとめたものを最終的にエビデンスレポートとして提出したわけですが、その後津谷先生(津谷喜一郎氏・東京大学大学院)が非常に立派に引き継いで、西洋医学の成績と比較してもひけを取らない高いレベルでの成果が積み重ねられ、ランダムイブした無作為比較試験320報が掲載されインターネット上に公開されています。こうした取り組みがなされている中で今回の事業仕分けが起ったものですが、非常に驚いたのです。

◆小さなマーケットだからこそ守る必要性 事業単位で仕分けすると、競合する事業間の予算の奪い合いが生じて陰湿な構図が表面化することも懸念されました。

◆秋葉 私も海外での講演の際に調査したのですが、薬局製剤もあわせた生薬製剤全体は、日本の薬剤医療全体の1・4%です。

◆ですから保険医療の中に占める割合は、1%を切るか切らないかという、ある意味では非常に小さなものですが、見逃されやすいということもあり、簡単に潰されかねないのです。

◆ですから漢方ならではのエビデンスの確立は、漢方界をあげてやらなければならぬことではないかと、(2面)につづく

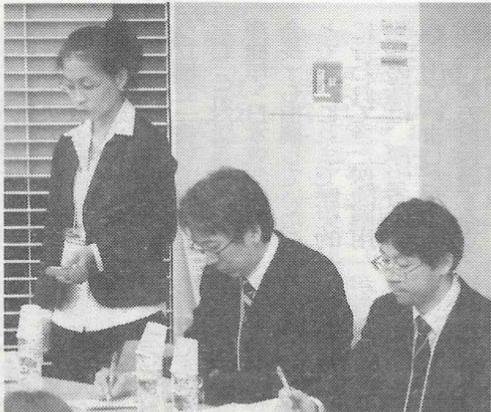
## 第3回生薬若手懇話会勉強会

### 盛会のうちに終了

◆次回は日本生薬学会年会 昨年12月28日に開催された第3回生薬若手懇話会の勉強会には、大学院生、社会人、薬剤師、学生49名が参加。盛会だったことが実行委員会から報告された。この会の世話人は伊藤美千穂(京大院・薬、池田剛(熊本大・薬)、久城哲夫(東大院・薬)各氏。日本生薬学会生薬天然物部会(正山征洋部会長・長崎国際大薬)の事業のひとつとして活動を展開している。

実行委員長の伊藤氏は「これは、たくさんの方々に興味を持っていただけたこと、皆様の若手パワーが今後、花開く時がやってくることを感銘させている」と語った。

◆今年の活動については、当初8月に予定していた「神農シンプodium」は、独立開催ではなく、3月に岡山市内の数か所で開催される日本生薬学会の年会中のシンプodium「S49」として開催することとなった。日時は、最終日3月30日の午前9時から11時のセクションに予定されている。



昨年の日本生薬学会年会の若手シンポジウムでも座長をつとめた3氏

インタビュー 建林松鶴堂 建林邦信社長 ②

統合医療の揺りかごを探して 旭丘光志 「細胞内診療」6・7面

5面

# ラジオNIKKEI TSUMURA Medical Today

漢方webの3シリーズがスタートしました!

ラジオNIKKEI医学番組「TSUMURA Medical Today」で放送しております。またインターネット上「ツムラ漢方スクエア」からもリンクしてご視聴できます。

### 漢方医人列伝

北里大学東洋医学総合研究所/医史学研究所 教授 監修 小曾戸 洋先生  
日本の漢方医薬の歴史に確固たる足跡を残す医人たちの生涯を学び、漢方に対する理解を深めます。

### 漢方頻用処方解説

漢方方剤毎に、出典、構成生薬などの解説と、西洋学的な知見で解明しつつあるメカニズムやEBMなど解説しています。

### 印象に残る症例

経験豊かな漢方医の先生方が印象に残った自験例を参考に、漢方薬の魅力と臨床ですぐに役立つ実践的な漢方処方をご紹介します。

【領域・疾患別シリーズ】【ステップアップ・シリーズ】【私の漢方学習法】【領域別入門漢方医学】掲載中

株式会社ツムラ <http://www.tsumura.co.jp/>  
 ●資料請求・お問い合わせは弊社MR、またはお客様相談窓口まで。 ☎0120-329-970 医療関係者向け 漢方情報サイト「ツムラ漢方スクエア」(2009年5月制作)

# WHO 国際疾病分類第11版 (ICD-11) に伝統医学の病態と病名収載

◆新薬との組み合わせの  
エビデンスも(1面より)  
漢方製剤が新薬の働  
きを補ったり生かしたり  
することが言われていま  
すが、その検証もでき  
ていないですね。  
秋葉 西洋医学にとっ  
ても漢方医学は有益に働  
くというにはありま  
す。なおかつ経済性に優  
れて治療効果もあがる  
ということが証明できれば  
いいですね。

クリニカルエビデンスが  
ほしいですね。  
— 何かいい方法があり  
ますでしょうか。  
秋葉 国費によって、  
きちんとした大規模研究  
を実施するしかありません。  
漢方に研究費の目が  
向いてきたこの時期で  
そ、例えば各大学の連  
合で実施するとか、何と  
いっても、それぞれの漢  
方のセクションは小さい  
ものから、単独で行  
うには限界があります。  
いかに漢方に理解のあ  
る西洋医学の人たちと一  
緒にやれるか、というこ  
とでしょう。科研費で研  
究できるということであ  
れば、西洋医学の先生方  
にとっても新しい発見の  
機会です。

できるチャンスです。日  
本の医療界において、東  
西医学の分け隔てなくひ  
とつ目的のために研究  
していきませんかにな  
るのではないでしょう  
か。  
秋葉 厚労省も加わり取り決  
めたICD-11への収載  
が、例えは各大学の連  
合で実施するとか、何と  
いっても、それぞれの漢  
方のセクションは小さい  
ものから、単独で行  
うには限界があります。  
いかに漢方に理解のあ  
る西洋医学の人たちと一  
緒にやれるか、というこ  
とでしょう。科研費で研  
究できるということであ  
れば、西洋医学の先生方  
にとっても新しい発見の  
機会です。

と、幕末の漢方医学は最  
も高いレベルにあったと  
思われます。これは私の  
私見を交えますが、明治  
の医政の改革によって、  
漢方医学は除外されてし  
まった感があります。で  
すからあの当時に書かれ  
たものを読んでみると、  
次元の高い。私たちの理  
解の及ばない用い方でい  
い成績を上げています。  
必ずしも十分に理解でき  
ない事柄があるのです。  
あの辺りの時代の医学を  
理解すること、幕末のレ  
ベルを回復するというこ  
とが当面の課題です。  
◆方法論に拘泥しすぎず  
冷静かつ理性的に  
秋葉 その時に、方法  
論の原則を無二無三守っ  
ていても、なかなか病態  
に対する新しい捉え方に  
たどり着くのは難しい。  
頑なに固執せず、他の方法  
の発展は、別に考えなけ  
ればならないと思いま  
す。冷静に理性的に対応  
すべきですね。  
若し人たちは、伝統医  
学のさまざまな理論に非  
常に興味を抱いて勉強し  
ています。方法論に優劣  
はありません。治せるか  
治せないかです。治せる  
のであれば必要な理論は  
取り入れましょうという  
ことです。  
— 例えば、漢方のたく  
さんデータを集積して診  
断に予測を立てるデータ  
マイニングのシステムに  
ついては、どのように考  
えておられますか。  
秋葉 正確な所見ア  
タの入力とその集積がき  
ちんとできれば、方法論  
としてはいいと思います。  
かなり力量のある漢方医  
の診断によって、仕組み

◆厚労省も加わり取り決  
めたICD-11への収載  
が、例えは各大学の連  
合で実施するとか、何と  
いっても、それぞれの漢  
方のセクションは小さい  
ものから、単独で行  
うには限界があります。  
いかに漢方に理解のあ  
る西洋医学の人たちと一  
緒にやれるか、というこ  
とでしょう。科研費で研  
究できるということであ  
れば、西洋医学の先生方  
にとっても新しい発見の  
機会です。

な用い方も含めて、より  
有効な使い方が模索され  
始めています。  
これは顕在化した動き  
はありませんが、私は漢  
方のノウハウをインスト  
ラクションする立場にあ  
るわけですから、高い  
レベルの知識、技量を目  
指す人が多くなったとい  
うのは正直な感想です。  
こうした現象は、漢方  
が普及したと一体な  
のですが、その普及は必  
ずしも漢方らしい漢方の  
使われ方ではありません  
ん。もちろん葛根湯が風  
邪だけに用いられるとい  
った使い方は、否定され  
るものではないですね。  
しかし西洋医学ではな  
かなか治療のうまくいか  
ない不定愁訴とか軽症の  
うつなど、現在日本中で  
増えている現代的な病状  
に対して、漢方でアプロ  
ーチできるということが  
多くの人の間で見えてき  
たのだらうと思います。  
それがなぜ治るのかを  
科学的に検証するまでに  
は、まだ何年かかるで  
しょう。しかし、多くの  
医師が漢方の有効性に目  
覚めたといえますか、今  
まで漢方が用いられな  
った領域にまで使われる  
ようになってきました。  
そのひとつは精神科の領  
域であらうし、もうひと  
つは循環器科です。もち  
ろんがんなども難しい病  
気ですが、これは以前か  
らやっています。これま

の対象疾患から対象が  
広がってきたということ  
を実感します。しかも高  
度なやり方、いい結果を  
出そうとして一生懸命や  
る人が増えてきました。  
そのスキルを若い人た  
ちが目指してきたとい  
うのは心強い。私たちを  
越えてくれそうな次の  
世代の人たちが出てきた  
というのはありがたいこ  
とです。そのために、従  
来の漢方の方法論(古方  
であるとか、中医学であ  
るとか、後世派の考え方  
などの伝統的な考え方に  
目を向けるようになって  
きました。  
◆高かった幕末の漢方医  
学のレベル  
秋葉 良く考えてみる

をしっかりと整えて集積す  
ることが必要でしょう。  
— 仮にこうしたシステ  
ムが完成したとして、漢  
方の診断をなくしても使  
えるようになる、診断  
法を学ぶ機会を逸しても  
つたない気もします。  
秋葉 心身の理解を経  
ずに漢方を処方すること  
はできませんから、こう  
したシステムは限られた  
範囲で用いられるよう  
なるでしょう。漢方は人  
の五感を通して治療を施  
すところに意味がありま  
す。しかも患者さんの苦  
しみと共に感ずることで治  
療が行われていますか  
ら、なかなか王道はない  
んです。逆に患者さん  
に共感することさえでき  
れば、半分以上は治る  
ということも言えます。  
— 漢方に限らず、新薬  
を用いて治療する場合  
も、そうしたことは言え  
るのでしょうか。  
秋葉 治療の上手な先  
生は、みな聞き上手です  
よ。患者さんに「話して  
よかった」と思ってもら  
えるような診察ができれば、  
それが何よりの治療  
です。  
特に漢方は、そこによ  
って立つ医療です。だか  
らこそ、用いる人によ  
って効いたり効かなかった  
りすることもあるのだし  
ょうね。患者さんが信頼  
してくれるからこそ効果  
があるわけで、そこを欠  
落して単なる治療対象物  
として処方したら、効き  
目はごく限られた範囲に  
なるでしょう。われわれ  
人間は、そんなに機械的  
ではありません。病気は  
さまざま原因があって  
症状が出ますから。



## 大正生れ

日本の人口の構成比  
で、大正生れの人は全人  
口の7%とあったのはも  
う四、五年前のことだか  
ら、今はもう5%をばい  
に下がっているのではな  
いかと推察される。私は  
大正生れの一人として、  
大正生れを少々誇りに思  
ってきたので、何やら少  
し淋しい気持ちになっ  
てくる。

昭和二十年の日本の敗  
戦以後、焦土化した日  
本の復興期にいち早く活  
躍されたのは、いづれも  
明治にお生れの方々であ  
った。昭和二十年の敗戦  
の年、明治元年生れの方  
は80歳、末年の四十五年  
生れの方は35歳。いづれ  
も人生の旺盛期、働き盛  
りの壮老年期であられ  
る。

奥田謙蔵、大塚敬節、  
矢数道明、細野史郎、中  
島随象という先生方はい  
づれも明治のお生れであ  
る。明治という日本の改  
革興隆期に生を享けて、  
大正生れの人達と言っ  
ても過言ではない。  
従って黄塵渦巻く大陸  
の戦線で、南十字星輝く  
南海の孤島で、祖国の為  
を思つて命を捧げられた  
のは、大部分がこの大正  
生れの方と言っても、差  
し支えないのではないだ  
らうか。  
今次大戦の日本人の犠  
牲者は三百十万人と言わ  
れているが、その過半は  
大正生れの方が受難され  
たのではないであらう  
か。  
そして昭和二十年の敗  
戦の年、大正生れの最年  
長者は35歳、最年少者20  
歳である。人生の一番力  
の出る年齢期に大正生れ  
は差しかかっていた。戦  
後、焦土化した日本の

復興は国民の悲願であ  
ったし、この日本の復興  
に馬車馬のように一心不  
乱に働き、その原動力と  
なったのも、又、大正生  
れであったと言えないで  
あらうか。  
昭和三十三年の東京オ  
リンピック開催。最早戦  
後ではないと言われた。  
日本の復興は奇跡的と世  
界から評価され、高度成  
長、世界第二の経済大国  
へと邁進していった。そ  
の陰にあって、経済成長  
の根源の力となったの  
が、敗戦の年、20歳から  
35歳までの大正生れとい  
った口が過ぎるとお叱  
りを受けるであらうか。  
先にお名前を上げた奥  
田、大塚、矢数、細野  
の孤灯を守り意志を貫  
いた明治大正の漢方家達

### 第129回

### 伊藤敏雄

戦後という日本の悲劇の  
時代にいち早く活躍され  
たのであった。  
一方、大正生れの方を  
振り返ると、大東  
亜戦争の始まった昭和十  
六年という年は大正元年  
生れの方は30歳、大正末  
年の十五年生れの方は16  
歳である。(数え年)16  
歳から30歳は正に兵役の  
壮年年齢で、一兵卒から  
少壮将校の年齢に当た  
り、将校といつても、30  
歳では大尉とまで中隊  
長クラス。正に四年間に  
わたって戦われたこの戦  
争で、第一線で生命を的  
に働かされたのは、この

大正生れの人達と言っ  
ても過言ではない。  
従って黄塵渦巻く大陸  
の戦線で、南十字星輝く  
南海の孤島で、祖国の為  
を思つて命を捧げられた  
のは、大部分がこの大正  
生れの方と言っても、差  
し支えないのではないだ  
らうか。  
今次大戦の日本人の犠  
牲者は三百十万人と言わ  
れているが、その過半は  
大正生れの方が受難され  
たのではないであらう  
か。  
そして昭和二十年の敗  
戦の年、大正生れの最年  
長者は35歳、最年少者20  
歳である。人生の一番力  
の出る年齢期に大正生れ  
は差しかかっていた。戦  
後、焦土化した日本の

復興は国民の悲願であ  
ったし、この日本の復興  
に馬車馬のように一心不  
乱に働き、その原動力と  
なったのも、又、大正生  
れであったと言えないで  
あらうか。  
昭和三十三年の東京オ  
リンピック開催。最早戦  
後ではないと言われた。  
日本の復興は奇跡的と世  
界から評価され、高度成  
長、世界第二の経済大国  
へと邁進していった。そ  
の陰にあって、経済成長  
の根源の力となったの  
が、敗戦の年、20歳から  
35歳までの大正生れとい  
った口が過ぎるとお叱  
りを受けるであらうか。  
先にお名前を上げた奥  
田、大塚、矢数、細野  
の孤灯を守り意志を貫  
いた明治大正の漢方家達

と、幕末の漢方医学は最  
も高いレベルにあったと  
思われます。これは私の  
私見を交えますが、明治  
の医政の改革によって、  
漢方医学は除外されてし  
まった感があります。で  
すからあの当時に書かれ  
たものを読んでみると、  
次元の高い。私たちの理  
解の及ばない用い方でい  
い成績を上げています。  
必ずしも十分に理解でき  
ない事柄があるのです。  
あの辺りの時代の医学を  
理解すること、幕末のレ  
ベルを回復するというこ  
とが当面の課題です。  
◆方法論に拘泥しすぎず  
冷静かつ理性的に  
秋葉 その時に、方法  
論の原則を無二無三守っ  
ていても、なかなか病態  
に対する新しい捉え方に  
たどり着くのは難しい。  
頑なに固執せず、他の方法  
の発展は、別に考えなけ  
ればならないと思いま  
す。冷静に理性的に対応  
すべきですね。  
若し人たちは、伝統医  
学のさまざまな理論に非  
常に興味を抱いて勉強し  
ています。方法論に優劣  
はありません。治せるか  
治せないかです。治せる  
のであれば必要な理論は  
取り入れましょうという  
ことです。  
— 例えば、漢方のたく  
さんデータを集積して診  
断に予測を立てるデータ  
マイニングのシステムに  
ついては、どのように考  
えておられますか。  
秋葉 正確な所見ア  
タの入力とその集積がき  
ちんとできれば、方法論  
としてはいいと思います。  
かなり力量のある漢方医  
の診断によって、仕組み

(つづきの) 家族は大変感謝されるし、満足されます。 ◆急性期の対応が主流の漢方医学 秋葉 高齢者医療の在り方が問われていながら、そうした取り組みを行って行くところはどこにもありません。若い医師もそうした臨床に対応することが出来ません。漢方は、本来は急性期の対応が主流なんです。それを敷衍、応用したのが慢性疾患への投薬です。から、慢性疾患のみに投薬を繰り返しては、急性疾患に適用させることはできません。先ず脈です。脈を毎回診ていると、だんだん死に近い脈

になっていくのがわかります。すると、急な脈の変化などもわかってくるようになります。昔から言われている脈には、死に近くなるという「死脈」というものがある。いくつかあるのですが、いまの医師は「死脈」に触れる機会ほとんどありません。点検をしていく限りは「死脈」はほとんど出ないんです。 — 山田光胤先生の御尊父を往診した大塚敬節氏は「これが死脈だからよく覚えておこう」と山田先生に伝えたとす。山田先生は「師匠に聞いたことで、脈を知ることができた」と言っておられましたね。

秋葉 そうでしたか。点滴せずに、在宅でできる看病をしながらゆっくりと死に向かっているときは、それを変更するような処置をしても意味がないから、静かに看取る努力をするんですね。そうした時に、先ほど申し上げたような神々しい言葉も言ったりすることもあつた。人間というのはすごいと感銘します。 — 普段から憎まれ口を利いている方でも、心の底には感謝の気持ちや温かい気持ちを持っているのでしょね。 秋葉 そうした場合に積年の思いが解けるような機会をいただくわけ、そういう人の死とい

うものをもう一度回復したいものですね。 — 京都の坂口弘先生の追悼集にある「子息の寄稿」によると、坂口先生は「自身の死に際がわかっておられたようで、最期に「子息ととも様な会話を交わされたことが記されています。死脈というものは、自分でもわかるものなのではいなか。 秋葉 わかるようですよ。私はまだそういった体験はないのですが、和田正系先生の歌集には、死の床にある自分の脈に死脈が出ていることが詠まれています。 坂口先生は、昭和34年の「漢方の臨床」に2ヵ月連続で脈診について書

いておられます。脈に造詣が深かったのでしょう。今、私が興味をもって診ているのは、同じ人の脈に左右差が出ることで、左右差はないほうが体調がいいようです。そういうこともいろいろと検証しています。 漢方は、高度な診断にならざるを得ない。過去の伝統的な診断を無視できなくなりました。伝統的な手法を検証しながら引き継いでいくというのが、われわれの使命ですね。 秋葉 五行説の五臓(肝・心・脾・肺・腎)の「肝」に關係するのは「怒」ですから2千年も前から言われているんですね。昔から言われ続けていることは確かです。

「この薬は怒りっぽい人の痛みに効くに違いない」と直感して処方したら、驚くほど効果があったので、大きな発見をしたと喜んでおられます。後日古典をひもとくと、和田東郷が同じことを記述していたので、「先人に敬服した」と話しておられました。漢方や生薬のことをよく勉強しておられて、古典に興味を持つようになった経緯も披露されました。 秋葉 伝統的な診断手技、治療技術、高いスキル—これらを検証して若い人たちに残すということがです。それには自分自身が到達していないければなりませんから、先ず自分がやるというこです。そうすれば、こ

### 薬になる動植物

中国 長春中医药大学 名誉教授 林輝明

#### 第41回 松竹梅

◆松竹梅は慶事の瑞木 「松竹たてて門こに、祝う今日こそ榮しけれ」と小学唱歌に歌われるほど、日本人は松と竹に梅を加えて「松竹梅」とか歳寒(さいかん)の三友(さんゆう)と呼び慶事(けいじ)の瑞木(みづき)としてきました。

◆松に長生の食効 まず松は常緑で風雪に耐え、長寿で節操高い植物とされ、主として北半球にマツ科マツ属の針葉樹として10属、220種が広く分布しています。防風

林、防砂林として利用される他、木部にはテルペン油やロジンなどの樹脂を含むので、耐水性に富み橋梁や杭などの土木用や造船、建築などの材料にされます。また松炭は火力が強く、日本刀や農機具などの鍛冶や製鉄に古くから使用されてきました。樹脂は印刷インキや塗料の製造に利用されます。

◆節目正しい竹に強い殺菌・解毒・排毒作用 イネ科の竹は、冬でも青々として、節目正しくまっすぐに生長するので、気品ある君子の植物とされます。竹材の用途は建築用、家庭用品、造園防火用など数百種類の多岐にわたります。葉としても、葉は清涼解熱止瀉剤として、顔面紅潮、口渇、口内炎、鼻出血、日射病など体のほてりをとる生薬として竹葉の名で漢方処方に配合されます。また竹の幹を火で炙ると切り口から液汁を滴下しますが、これを竹瀝(ちくれき)と呼び強い殺菌力を持ちます。これは液汁にクレゾールやフェノール

を含み、消毒、化痰、性眼病、肺炎、鎮咳去痰、創傷、のぼせ、ストレスなどの解消に用います。地下茎の芽が脹らんだのが竹の子ですが、食用の他に酒毒を改善し、利尿や鎮静作用をもちます。

◆梅の果実は疲労回復・殺菌の生薬、花・刺・根にも生薬作用が 梅は、寒さに耐え、清香を放つて百花にさきがけて開花するので祝いの樹木とされます。バラ科のサクランボ属の落葉樹で中国を原産地とします。その果実は梅干しとなり、疲労回復、食欲増進、虫下し、下痢止めなどの薬効を持ちます。古くは未熟の青梅の実をワラ火の

煙でくすべ乾燥した黒い果実を烏梅(うばい)と呼び、食中毒の殺菌生薬としてきました。 また乾燥した花の蕾(白梅花)はベンツアルレヒド、オイゲノールなどの精油を含み、煎じて肝臓や胃の衰弱、食欲不振、めまいの改善や喉(のど)の異物が詰まったような閉塞感を除く治療に用います。

◆吉益東洞の方法論からの脱却 秋葉 吉益東洞の『医断』という本は、東洞が述べたことを彼の弟子の鶴元逸が著したもので、1747年に序が記された本ですが、その始めのところで脈を論じており、東洞は脈を平々くくは有用なというくらいのことからわがかります。 しかし東洞は、「脈などは診断のためには役に立たない」というようなことも書き残しています。また「素問、靈樞、難経は後世の偽書」と言っていて、不要なものばかり捨てたというふうな極端な書き方をしているで、誤解を招くことがあります。 『医断』が実際に出版されたのは1759年(宝暦9年)で、写本もずいぶん出回ったらしいが、東洞の「マニフェスト」として有名な本で、物議を醸したことも知られています。 東洞は1745年頃まで、彼に診てもらおうと

いう患者は誰もいませんでした。 30代で医家としての大望を抱いて広島から一家を率いて京都に上京したのですが、京都の人々は新参者の東洞には見向きもしなかったのです。だから人形の木偶を彫って糊口を潰していました。これは本当の話かどうかはわかりませんが、あはわかりませんが、あるとき東洞が人形を納めに問屋に向くと、店の奥が騒がしい。「どうしたのですか」と尋ねると、「内儀が病気がたつた。」「よかったですね。周助(東洞の通称)に診せていただけませんか」と言っていて脈を診ることを許され、投薬されている薬も見たんです。 ◆内儀は山脇東洋に診てもらっていたのです。が、周助は「山脇先生はこの薬のうちの石膏を加えるか去るか、迷われているに違いない」と言っていて帰ったのです。後日、東洋が往診に訪れたとき

に主人が東洋にその話をすると、「その方は相当な見識を持っておられる」と言っていて「会いたい」と願ひ出た。そして東洋は、東洞の推薦状を書きました。東洞が開業するにあつた、あつたという間、その名が京都中に知れわたって、京都の医界を席巻して、数年のうちには日本中を自分の色に染めてしまっていました。それが証拠に、1750年から「類聚方」を著しますが、1万部が京、大阪、江戸で短期間の内に売り切れたといわれています。 ◆目いっぱい働かず、研究日を設けて — 多くの医家は書物を書き残しますが、患者さんを日々診察ながら書物を

書き残すためには大変なエネルギーが必要だろうし、短い人生にあっては書ける時期もごく限られているように思えます。 秋葉 ですから私は若い医師たちには必ず、「研究日を設けなさい。目いっぱい働いてはいけません」と言います。開業して医院が繁盛しても、自分がくたばられてしまつては何も残しませんから。 ◆「地域医療」には現場がある — 自分のフィールドに戻って在宅医療に邁進しようと考えているようになったきっかけは何かありましたが、それはこの頃です。 秋葉 最近医療が社会から偏見をもって見られているような気がする。 — 「医療崩壊」というようなことですね。 秋葉 そうです。「崩壊だ」と言っていて病院勤務の医師の大変さが表に出ています。実は開業医はもっと大変な状況に置かれています。3人勤務のところを2人にし、なおかつ自分の取り分を減らして経営を成り立たせている医師が多いんです。本当に医療が成り立たなくなつてきているのは、地域医療なんです。それを担っているのは、何の肩書きもない開業の医師たちです。開業医の経営を解析する作業を全く行わずに、政府は何年もの間、診療報酬を減じ続けてきました。(4面へ)

東京・信濃町にて



# 現場で鍛えられる漢方のスキル

(3面より)

◆答えは自分を信頼して  
くれる患者さんに  
秋葉 そうした状況に  
あって、最終的にどこに  
身を置くのかと考えた  
ときに、自分を信頼し  
てくれる患者さんのこ  
ろに答えがあると感じま  
した。足元を見ると課題  
がいろいろあるのと同  
時に、ほかでは得ること  
のできない財産や原石が  
たくさんあることに気付  
きました。それを磨いた  
ら、もっと豊かな医療が  
できるだろうと思ったの  
です。

つまり、自分自身が拠  
つて立つところの足元を  
もう一度固めて、われわ  
れの手を真に欲している  
人たちが一緒にその輪を  
大きくしていくことが、  
医療にとっても漢方にい  
いことだと思えました。

今の病院勤務では、あ  
るセクションに配属され  
るそれ以外のことはで  
きなくなってしまうん  
ですね。私がかつて勤務し  
た病院は、当時700床  
の規模の病院でしたが、  
例えば当直の急患の頭  
中に腫瘍を見つけたら、  
すぐ脳外科の先生を呼ん  
で、手術が始まると自分  
も手術に立ち会って、首  
脳も自分で見つけて外科  
の先生と一緒にオペをし  
たり、さまざまな経験を  
しました。それが必ずし  
もいいとは言えませんが、  
医師が鍛えられる現場  
が、医師が鍛えられる現  
場、切れば血の出る現場  
がありましたね。

今は現場がない。漢方  
もわかりです。そうした

現場、本当にわれわれを  
必要としている現場は、  
田舎にあります。田舎は  
急性病の患者さんを自分  
で診なければなりません。  
その心と力が在宅の  
患者さんたちです。高い  
スキルの漢方医学が培わ  
れるのはそういう現場  
ではないでしょうか。

われわれにはそうした  
高いレベルの漢方医学を  
伝えていく役割がありま  
す。日常生活における医  
療は、漢方の得意とする  
ところですね。

非常である施設医  
療においては、医療用漢  
方製剤の均一化や、病名

投与の手法が進展して  
一定の役割を果たすよう  
になりましたが、漢方の  
スキルは別のところにあ  
るといっていますね。

秋葉 仰るとおりで  
す。病名投与の手法は、  
西洋医学との接点をつな  
ぐ意味で大きな役割を果  
たしています。

しかし一方で、高い  
レベルの治療ができるリ  
ーダーが育ちにくい状況  
が生じています。

漢方医学に限って見る  
ならば、もともと漢方の技  
術を磨くことのできるフ  
ィールドがあります。漢  
方はずっと迫害されてき  
ましたから、ある種の緊  
張感の中で磨かれてきた  
という側面もあります。

強い信念と大望が感  
じられるお話を聞かせて  
いただきました。

最後に来る2月26日(金)  
から28日(日)の間、暮張  
メッセで開催される「第  
15回国際漢方医学学会学  
術大会」の見どころにつ  
いてお聞かせください。

秋葉 1999年以來

11年ぶりの日本開催の国  
際学会となり、大変充実  
したプログラムが組みま  
れています。詳細はホーム  
ページにアップされてい  
ます。皆様のお越しをお  
待ちしています。

国際学会に出席でき  
るチャンスですね。開催  
日が楽しみです。

本当にありがとうございます。  
聞き手・田部井志保

【主催】同会近畿支部  
【申込方法】先着120  
名、1月19日(火)までに往  
復葉書、FAX、E-mailの  
いずれかに、住所、氏名、  
電話番号を明記の上、下  
記に申し込み。折り返し  
受講票を送付。(FAXでの申  
込はFAX番号記入)

【問合せ】日本漢学会近  
畿支部「市民公開講座  
係」(〒606-8501京都市左  
京区吉田下阿達町京都  
大学薬学部内) E-mail:  
ykinri@pharm.kyoto-u.  
ac.jp FAX: 77-761-  
7849 (電話受付) (木)  
445-1 谷町線「谷町6  
半」15時半

# 明治政府はなぜ漢方医学を排斥したのか?

第77回 シャーナリスト 油井富雄

●和漢医学講習所の講堂  
正面に飾られ、昭和にな  
って矢数氏が入手  
明治15年5月の温知社  
全国大会を前にした森立  
之の七言絶句は、現在も  
温知社遺品として大切に  
保管されている。前々号  
の懇談会の席上での浅田  
宗伯の書(通称・席上揮  
毫の書)も当時の熱気が  
伝わる書だ。

ここでもう一つに温知  
社遺品を紹介しておこ  
う。浅田宗伯の席上揮毫  
の書と内容が非常に似て  
いる。

題名は『温知医覺記』。  
書かれたのは前号の明治  
16年の3月。全国大会で  
決議された和漢医学講習  
所(現在の日本橋本町2  
丁目)の完成直前のこと  
だった。

「覺」は、学び舎を意  
味し、この文字の使用例  
は湯島聖堂にあった江戸  
時代の最高学府を「昌平  
覺」と呼んだように、現  
代ではあえて文字を当て  
はめれば学校になる。

『温知医覺記』は、和  
漢医学講習所の講堂の正  
庁の間の正面に飾られ  
た。温知社解散、講習所  
消滅の後は、温知社の最  
後の責任者であった浅井  
国幹が保持していた。

国幹の死後もその遺族  
が大切に保管し、昭和9  
年に『漢洋医学闘争史』  
(旧藩と医学社・昭和54  
年医聖社で復刻)を出し  
た深川農堂が浅井家から  
借り受け、宗伯門下の木  
村長久の手に渡った。

そして矢数道明氏の手  
に渡り、自ら主宰する東

亜医学協会が保管し、現  
在は北里研究所東医研で  
保存されている。

●全3888文字。漢語で  
したためた渾身の書  
まさに漢方存続の危急  
の秋に書いた浅田宗伯渾  
身の書、その文字数388  
8。

原文に忠実にまず前半  
部分を書き下し文にして  
みよう。

【天地之大徳を生と謂い、  
生を保つを医と謂う。  
故に古の聖人天地の秘  
を發し、陰陽の蘊を極め  
蔵府(臓腑)と同意、経絡  
の理を明らかにし、草木  
虫石の性を審らかにし、  
始めて医薬を製し、之を  
天官の職に列して、人を  
して疾患を免れしめ、こ  
れを寿域に躋らしむ。其  
の意は至仁、その沢は至

遠。善を尽くし、美を尽  
くすと謂うべし。降りて  
秦漢の間に追ふや、扁倉  
すでに没し、張華また起  
らず、隋唐の神仙、宋  
元の性理、吾校に混淆し  
て、家その説を異にし、  
金石標稗の削をもつて  
す。やもすれば、すな  
わち人命を草菅とす。い  
づくんぞ、仁術を為すを  
得んや。清人稱して医の  
覇道を為す、また誣いざ  
るなり。』

とは、同じく中国の名医  
の張仲景と華佗のこと。  
そんな、医師が「陰海  
に至る。つまり隠れてし  
まって残念であるという  
冒頭部になる。

そして、当時の現状と  
医の仁術の本筋という

主眼だ。それを基礎とし  
た診断で活物、生体に薬  
を投与する。ささいな病  
気でも「標稗(激しい)  
の薬で行い、人命を草菅  
管」とみなしている。西  
洋医学を非難している。  
「草菅」は草や芽という  
意味だが、現在ではいさ  
「機械部品修理」に相当  
する。

これで、西洋医学は、  
医の仁術の本筋という  
に我道を皇張せんとす。  
庶幾くば此の堂に登る  
者、偏なく、覚なく、す  
なわち疾病の浅深を量  
り、気感の宜によつて、  
汗吐下和温の五法を施  
し、もつて之を平に反し、  
長く天折癘の患を免  
れしめば、すなわち往古  
神聖の意においてまた豈  
遠からんや。もし、それ  
学天人を貴き、術八岐に  
通じ、狂瀾を倒し頹波を  
支柱でもあった。

官准(政府の許可を得  
て)『温知の覺』の設置  
を高らかにうたい、古代  
の名医に恥じないために  
は、諸君の勉勵(努め励  
む勉勵)にあるのみと、  
和漢医学講習所の新設を  
うたい、会員の奮起を促  
す書である。

これは、いわば明治の  
漢方復興運動期、漢方医  
としては絶頂期にありな  
がら、明治政府の医学と  
して認知しない漢方暗黒  
時代の記した浅田宗伯渾  
身の書で、宗伯の心の奥  
底がここにある。

(以下次号)

# 宗伯の「温知の医覺記」の全文一挙公開

人その徳を逞し、先  
聖の道遂に陰海に至る。  
遺憾ならずや

近來西洋の医術、我邦  
に施及し、世みな旧を厭  
うて新を喜ひ、死屍を解  
剖してもつて病理を論  
ず。猶、樹を折いて花を  
察るが如く、物品を分析  
し体を弁すること、あた  
かも車を数えて車無きに  
似たり。しかり、而して  
その術をあげてこれを活  
物に施し、妄に投するに

●死体を解剖して病理を  
論ずる。人命草菅  
にあらず。西洋医学は仁  
術ではない

●宮中侍医として活躍し  
た様子も。ただ勉勵に励  
め

後半部分を見てみよ  
う。

【今や聖明上に在り、宇  
内を洞視し、華夷を取捨  
し、実効を奏するをもつ  
て要と為す。是に於いて  
我輩、官准を得て、温  
知の覺を此に設け、まさ

『温知医覺記』の全文写真(故矢数道明氏主催・温知会会報5号より)

日本人の「和」の心に誇りと自信が持てる本

神々も悩み苦しみ、変容する

古事記 変容する神々

独裁と戦争からの解放  
この永遠の難題をめぐって神々は天と地と  
黄泉の国を舞台に運命的な変容を遂げていく  
古事記を明快な論理で解説

古代日本人が残した原典が時空  
を越えて現代人をサポートする

2作品同時刊行  
新刊好評発売中

佐賀純一著  
四六判上製  
246頁  
定価1680円 税込

品切れは書店注文か直接小社へ  
江東区富岡1-11-5-203  
03-3630-6151・F3643-3431

東洋医学舎

